

ヨード造影剤を使用する検査をお受けになる患者様へ

① 造影剤について

今回の検査で使用する造影剤はヨード造影剤という薬剤で、静脈から注入して使用します。この造影剤を使用する事で、異常の有無や、病変の性状、範囲など詳しく描出する事ができ、病気の状態をはっきりさせるための薬剤です。

② 副作用について

造影剤を使用する事で副作用が報告されています。副作用の発生頻度としてはかなり低いですが、場合によっては体に合わずに下記の症状が出る事があります。そのほとんどは軽度で検査直後から1時間以内に症状が出てくる場合が大半で、稀に24時間以上経過してから軽度の症状が出現する場合があります。

軽度：くしゃみ、かゆみ、発疹、発赤、蕁麻疹、軽い嘔気、嘔吐、紅潮、のどの違和感、など

中等度：血圧低下、顔面蒼白、発汗、冷汗、呼吸困難、喘鳴、激しい嘔吐など

重症：重篤な循環障害、心筋梗塞、不整脈、痙攣、肺浮腫など

重篤：呼吸停止、心肺停止、瞳孔散大、四肢蒼白、チアノーゼ、死亡など

③ 合併症

造影剤の注入速度は2～3ml/秒と急速注入いたします。その為に体が熱く感じる事がありますが、それは異常ではありません。それ以外として急速注入時に造影剤が漏れることにより注入部位がはれる事がありますが数日で治癒します。はれや痛みなどの症状が強い場合は診察が必要になる場合があります。

④ ビグアナイド系糖尿病薬を服用されている方へ 【糖尿病の患者様】

ビグアナイド系糖尿病薬(メホルミン塩酸塩)を服用されている方へのヨード造影剤を使った検査をすることで、重篤な副作用が出る事が報告されています。したがって副作用を抑える為に休薬していただく場合があります。

必ず、以下の指示に従ってください。

休薬の必要なし

検査の2日前から検査後も2日間の休薬をして下さい。

⑤ 検査前の食事制限について

検査の約4時間前までは通常のお食事をお取りいただいて結構ですが、4時間前以降からは絶食していただきます。

ただし絶食ではありません、水分制限すると体が水分不足になり、造影剤による副作用がでやすくなる恐れがある為、十分な水分摂取をお願いいたします。

⑥ 検査当日について

検査当日は予約時間の15分前までにご来院下さい。

ご来院されましたら、まず中央受付にて受付をしてから10番・放射線科窓口へお声をおかけ下さい。

なお検査をキャンセルされる場合は、速やかに病院の方へご連絡ください。

⑦ 検査後について

検査終了後は通常通りお食事をしていただいて結構です。後から出てくる副作用の予防の為に十分に水分を補給するようお願いいたします。

万一、体の変調を感じた場合は、すぐに病院へご連絡またご来院下さい。

ご連絡先・お問い合わせ先

土庫病院

0745-53-5471